

特別展

かわら

瓦



平安の都へ

■講演会 会場 当館講座室

十二月十三日(日)午後二時

「平安京に運ばれた瓦」

講師 奈良国立文化財研究所 上原真人氏

十二月二十日(日)午後二時

「平安京の人々と生活」

講師 同志社大学 森 浩二氏

平成六年十二月三日(木)～十二月十二日(日)

■開館時間/午前九時三十分～午後五時 ■休館日/月曜日・祝日の翌日

■観覧料/大人五〇〇円(四〇〇円) 高大生二五〇円(二〇〇円)
小中生一〇〇円(八〇円) (一内は二〇名以上の団体割引料金)

(案内図)



吹田市立博物館

大阪府吹田市岸部北4丁目10番1号
電話(06)3381-5500

■交通案内

阪急千早線吹田駅より

桃山線・山田線山田駅よりバス「佐井寺北」下車 徒歩10分

阪急山田千早線中央・山田駅より徒歩10分

下車 徒歩10分

阪急千早線南千早駅より

JR吹田ゆきバス「三軒茶屋」佐井寺北下車 徒歩10分

JR東海道本線岸部駅下車 徒歩20分



瓦

かわら

平安の都へ

吹田市岸部北にある国指定史跡吉志部瓦窯跡は、平安京遷都にともない、8世紀末～9世紀初頭に新都の瓦を生産した瓦窯として知られています。この地に宮都遷都のための宮内省瓦工所が築かれたのは、5～7世紀に隋朝をみた千里丘陵における須惠器生産の伝統にもとづくものと考えられます。

平成8年は平安建都1200年にあたります。今回の特別展では、これを機会に、吉志部瓦窯跡を出発点とし、平安京の主要な建物の瓦の変遷をたどりながら、その生産地の家業の資料や在地で使われた瓦に目を向け、平安時代の造瓦体制のあり方を再現します。

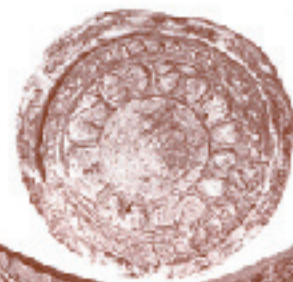
また、平安京跡の発掘調査では瓦のみならず、平安貴族や庶民の日常の暮らしぶりを知ることができる品々が出土しています。このたび展示されるこれらの出土品を通じて、古代都市平安京の繁栄の姿がうかがえることと思います。



小型軒瓦(吉志部瓦窯跡出土)



圓瓦葺軒瓦(龍泉院出土)



王子A号家跡出土軒瓦



平瓦(民野・平田遺跡出土)



吉志部瓦窯跡1号平家跡